

一般社団法人 和歌山県鍼灸師会

会 報

2013年度 第21号

和鍼会トピックス



和鍼会定時会員総会 H25.6.9



第9回 はり・きゅう講演会 H24.11.11



第1回 学術・青年部合同研修会 H24.7.21～22
中野会員による「奇経治療について」



第2回 学術・青年部合同研修会 H24.12.23
前嶋会員治療院見学会



第18回 口熊野マラソンボランティア H25.2.3



第1回 学術・青年部合同研修会 H25.8.4
テーピング講習会(講師 竹中会員)



公益社団法人 日本鍼灸師会

倫理綱領

日本鍼灸師会会員の遵守すべき倫理綱領を次のように定める

- 一 私は生涯を人類への奉仕に捧げることを誓う
- 二 私は常に患者の健康の回復と保持増進を第一に考える
- 三 私は患者の信頼に応じて秘密を厳守する
- 四 私は良心と誠意をもって治療に専念する
- 五 私はたえず鍼灸の学と術について最高水準を保ち疾病に関する知識を一層深め伝統を守りその伝承に努力する
- 六 私は鍼灸治療の有効性を高めその学術的研究の業績を重ねることによって他の医療分野から信頼と協調を確保し患者の治療に努力する
- 七 私は鍼灸治療の適応を十分認識し無効な治療を行うことなく更に過誤を犯すことのないように努める
- 八 私は常に自己の職責に誇りと責任をもち鍼灸師としての名誉と尊厳をもって鍼灸の発展に努力する
- 九 私は治療に当って宗教国籍人種政党社会的地位の違いによって患者に果すべき義務を変えることはしない
- 十 私は流派を超えて相互に鍼灸師を尊重し鍼灸界の団結を高め鍼灸師の資質向上のために努力する

目 次

倫理綱領	1
巻頭言 一般社団法人 和歌山県鍼灸師会 会 長 萩野 利赴	3
[特集] 一般社団法人への移行完了のご報告	4
[特集] 厚生労働大臣感謝状を拝受して 副 会 長 中田 浩	7
[特集] 保険衛生(医事)功労知事感謝状を受賞して思うこと 副 会 長 出崎 哲也	10
[特集] 第32期鍼灸臨床研修会に参加して 坂本 浩一会員	11
保険部より	
●鍼灸療養費取扱い状況	13
●和歌山県鍼灸師会療養費等請求と県後期高齢者医療広域連合支給の比較	15
学術部より	
●平成24年度 学術部活動報告	18
●平成25年度 学術部活動計画	21
青年部より	
●第1回 学術・青年部合同研修会開催のご報告	22
●近畿ブロック青年部一泊研修会のご紹介	23
●紀州口熊野マラソン大会 鍼灸ボランティア活動のご紹介	23
総務部より	
●新入会員紹介	24
●「特別警報」が発表されたら、ただちに命を守る行動をとってください	25
●きしゅう君の家 登録について	27
●使用鍼の回収について(廃棄費用は無料)	27
●入会のご案内	28
広報部より	
●和歌山県鍼灸師会 HP 活用のご案内	29
●和歌山県鍼灸師会 Facebook 活用のご案内	29
推薦図書のご案内	30
平成25年度定時会員総会	31
平成24年度 事業報告	32
平成25年度 事業計画	35
平成25・26年度 役員紹介	37
編集後記	38



巻頭言

一般社団法人 和歌山県鍼灸師会
会長 萩野 利赴

秋冷の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご厚誼にあずかり、厚く御礼申し上げます。

昭和63年8月に社団法人 和歌山県鍼灸師会として誕生しました。この度の法人改革による新公益法人制度では、多様化する時代の流れに伴う大改革であり、本会は平成25年4月1日付で一般社団法人 和歌山県鍼灸師会として生まれ変わりました。6月9日の定時会員総会では新役員が誕生し、理事7名で会務を遂行して参るところです。

公益社団法人 日本鍼灸師会も平成25年度役員改選があり、仲野弥和会長が再選され、新体制になりました。2年前の仲野会長のテーマは「志と絆」でした。今年は、「結束・前進」であります。結束し何を前に進めようとしているかは、しっかりご覧頂き、共に活動したいと願っています。

国民の眼から見た鍼灸師像とは、いったいどのようなものでしょうか？

我々鍼灸師側から見た将来の鍼灸師像については、永らく議論されています。

“統合医療”と叫ばれている今の時代、“チーム医療”として我々鍼灸師がどこまでお役に立つ事ができるでしょうか？ またお役に立つことができる自信が、鍼灸師個々にありますか？ 鍼灸師も研鑽の積み重ねです。第9回日本鍼灸師会全国大会INおかやま(平成25年10月13日～14日開催)では、当師会から2名が発表者として参加します。またいつか全国大会を引き受けなければいけない時が来るかもしれません。これもまた研鑽の一つです。

研鑽を積み重ね、国民から信頼される鍼灸師。全体的なレベルの底上げです。

そして、医療関係者、介護関係者、ご本人とご家族を囲むチームの一員として、地域に根差した鍼灸師の役割をお示しし、活動の場を広げるように努めます。

関係各位におかれましては、今後とも御指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

【特集】 一般社団法人への移行完了のご報告

司会

「本日は、萩野会長、中田財務部長、竹中総務部長に“一般社団法人への移行”に関して色々とお聞きしたいと思います。司会は、木下広報部長が務めさせていただきます。

はじめに、この度の一般社団に以降された経緯を説明していただけますでしょうか。」

萩野会長

「平成18年6月2日関係3法の公布。平成19年度より公益認定等委員会による制度運用の指針の検討がはじまり、平成20年12月1日新制度の施行がなされました。特定民法法人と法律



上変わり、5年以内(平成25年11月25日まで)に、公益社団法人又は一般社団法人のいずれかを選択し、認定・認可を受けなければ解散となる大きな宿題を与えられました。

当師会では平成20年にプロジェクトチームを立ち上げ、内閣府の資料収集と理解に務め、定款と会計基準に取り組みました。大きな段ボールに入りきれない資料との戦い、とても鍼灸師の頭で理解できる内容ではありません。大きな夢を抱いて、当初は公益社団法人を目指していましたが、公益目的支出50%以上の壁にぶつかり、まずは一般社団法人申請に方向転換をしました。資料や申請書を読めば読むほどにわからなくなる日々。説明会に出向きました混乱して帰ってくる中で、締め切りが迫ってくるばかりです。何としても解散だけは避けなければなりません。そのような中で臨時総会、県への申請が通過し認可を得たのです。認可後もそれでおしまいではなく、複雑な事務に追われています。」

司会

「大変なご苦勞があったことが推察されますが、ご苦勞された点をいくつか伺いたいと思います。まずは、会長からお願いいたします。」

萩野会長

「法の解釈、説明文がとても膨大で、初めて目にする専門用語に負けそうな理事を励まし、檄を飛ばし続けました。勞をねぎらう事を忘れていたのかも知れません。」

司会

「プロジェクトリーダーという立場上、止むを得ないことであったことかも。では次に総務での苦勞話をお聞かせください。」

竹中総務部長

「まずは我々の会は、どのような活動をしているのかを把握することから始めました。見直すと殆どが公益活動にあたるため、公益法人として申請できるのではとの考えておりましたが、しかし、一度公益法人に移行するとハードルが高く、適切な運営ができなかった場合は、解散となります。」



司会

「県庁との折衝もあったと思われませんが、その点ではどうでしたか。」

竹中総務部長

「県庁医務課の担当者には、大変お世話になりました。最初は何も分からない状態で訪問させていただき、本会について相談させていただき方向性等、適切なアドバイスをいただきました。その後は、数十回と数えきれないほどのお電話及びメール等でご対応いただき、無事に一般社団法人へ移行することができました。」

司会

「では、財務での苦労話をお聞かせください。」

中田財務部長

「会計基準が今までと異なり大変複雑なものとなりました。三つの事業会計と法人会計を含む四つの財布というイメージです。財産を償却し、県の管理下を離れるまでは、事業で赤字を出し、法人会計でそれをカバーする。これが基本となります。簡単に言いましたが、ここに辿り着くまでが大変で、数字と会計ソフトと移行手引きを一つの形にまとめることがなかなかできず苦労しましたが、会長並びに理事の助けを借り、ギリギリ間に合いました。」



司会

「聞いているだけで目がまわりそうですが、会計士の先生からのご指導はどうでしたか。」

中田財務部長

「今までお願いしていた会計士は費用がかかり過ぎるということもあり、日本鍼灸師会の監事でもある公認会計士の大西先生にお願いしました。23年度の決算は、旧基準と新基準の2種類作成しましたが、新基準は当時まったく理解できず、大阪の大西先生のところへ教を賜りに行ってきました。朝の10時から夕方6時くらいまで昼食も休憩もなく、フル財務の講義が行

われ半分以上は何を言っているのか理解できず、大西先生の厳しい指導と、自分の無能さを痛感しながら帰路に着いた日がありました。今考えると一般法人移行の中で一番しんどかったことです。しかし、やらんとあかんという気持ちが生まれた日であったように思っています。大西先生に感謝とともに今後ともよろしく願います。」

司会

「萩野会長の強力なリーダーシップのもと、皆さんの一丸となって努力された結果“一般社団法人”に移行できたことがよくわかりました。

それでは、“一般社団法人”になった新生和歌山県鍼灸師会ですが、今後どのような会にしていきたいですか。まずは総務部長からお聞かせください。」

竹中総務部長

「名称に「一般」という文字が追加されましたが、昭和63年 社団法人として設立した当初の想いを引き継ぎ、より一層公益活動をおこなえる団体でありたいです。」

司会

「では、次に財務部長お願いいたします。」

中田財務部長

「移行直後の現在の会計は、財産の償却を考えたものとしていますが、実際に当会の活動を反映させた会計になっております。財産の償却が終わり、県の管理下を離れても会の活動方針を変える必要はないです。現在と同様県民の皆様に公益的な活動を展開していくべきだと思います。そして将来的に会計に余裕ができてきたなら公益法人を考える日が来るかもしれません。今後の鍼灸を思うと鍼灸師会の担う役割は大変大きいですね。」

司会

「最後に、会長お願いいたします。」

萩野会長

「全国的にも、公益社団法人、一般社団法人への移行が無事できました。

今後は、国民、県民の方にいかに公益目的事業の展開を継続実行し、鍼灸の素晴らしさをご理解いただく手段を見出せることができるかにかかっていると考えています。」

司会

「萩野会長、竹中総務部長、中田財務部長、ご多用のところありがとうございました。

また、この度の“一般社団法人”への移行、本当にご苦労様でした。会員を代表いたしまして御礼申し上げます。」

【特集】 厚生労働大臣感謝状を拝受して

～ボランティア現場での鍼灸師の役割について～



副会長 中田 浩

東北太平洋沖地震 福島ボランティアを振り返って、当時社団法人 福島県鍼灸師会との連携の下、5月1日に出発し5月4日帰省の強行軍で当会より4名の会員と元会員の先生1名が、道路状況の把握が困難で余震が続き、風邪やノロウイルス等の感染症の集団発生や、原発の問題もあり自身の健康状態にも影響を及ぼしかねない状況、環境の渦中、長距離運転等のリスクをすべて自己責任とし、ご家族の承諾書を頂いた上、ボランティアに行ってくれました。自分たちにできる人助けを全うしてくれた彼らの勇気に今も感動を忘れません。また、ボランティアに際し、義援金を募ったところ多くの会員や関係者の皆様より多大な義援金と物資の支援をしていただいたことが大きな力となり、後押しとなったことも忘れてはなりません。それぞれの力が一つになって成し得た活動に対し、厚生労働大臣感謝状をいただいたことは鍼灸師会として大変意味のある大きな勲章を得られたと喜びを感じております。

今回はボランティアに行かれた会員の方々にお話を聞いてもう一度当時の活動で感じたことなどをまとめてみました。

《実際のボランティア現場で感じたこと、鍼灸師の役割について》

患者さんの多くは、肩こり、下半身のだるさを訴えられていましたが、症状ははっきりとせず、慢性的な疲労感と胃腸症状の低下を含んだ状態の方が多かったように思われました。今回の体験で、患者さん本人が初期症状を自覚していなかったり、うまく表現できない身体の不快な症状を緩和するには、手当て、鍼灸などの手技療法がよくあっているのだと改めて感じました。



鍼灸ボランティア活動初日、施設内に入り医療ブースで準備に取り掛かっている最中、整形外科医の吉田先生と挨拶を交わすことができました。吉田先生から「あなたたち鍼灸師の治療が、本当の意味で手当てである、共に頑張りましょう！」という激励の言葉を頂きました。

この言葉は、私にとって忘れられない言葉となり、改めて、このような災害時には連携する事が大切であり、それを実行するには日頃から考え、取り組んでいかなければいけない事を実感しました。被災者への施術が始まり、鍼灸が苦手な方には鍼灸の良さを伝えながらも臨機応変に施術を行い、少しでも苦痛を取り除ける様に出来る限りの対応で務めました。



肩が痛い・腰が痛い・足がつる……。その訴え一つ一つが、避難所の中の状況を見ると、すぐに納得できる程の環境でありました。固い床に薄い布団を敷いて休んでいる方がほとんどで、中にはトイレの前のスペースに、ほぼ一日中横になっている方もおられました。驚くことに治療スペースは暖房が入っていましたが、廊下・その他ブースには暖房は入っておらず、非常に寒い過酷な状況でありました。日本人、特に東北地方の方は、我慢強い方が多いと思いますが、やはり心の苦痛・体の苦痛は量り知れないとリアルに肌で感じました。

《実際の被災地を訪れて》

福島県郡山市を離れ、いわき市の被災地を福島県鍼灸師会の先生にご案内頂き、津波被害を目の当たりにし、テレビ等報道を見た時より悲惨な状態で、自分自身も深いため息しか出ませんでした。見なければ良かったという思いと、見て今後の教訓に生かしたいという気持ちの葛藤でした。



被災現場の一つである、いわき市の小名浜港・小浜地区を視察しました。TVで見ただけでも映画をみている様な錯覚に陥る感覚になりましたが、実際はもっと酷いもので、大きなショックでした。



言葉にならず、カメラも途中から向けられなくなってしまい、ただただ手を合わせる事しか出来ませんでした。

いわき市の海岸周囲の被災現場をご案内頂き、壊滅状態がテレビの映像で拝見する範囲をはるかに超えるものでした。あまりの悲惨さを自分の目で見て、肌で感じ取らせて頂き、心より黙祷を捧げさせて頂きました。近い将来発生するであろう南海・東南海大地

震の発生時に公益社団法人 日本鍼灸師会、近畿ブロックまた当師会で何ができるか？何を求められているのか？今後を考え、訴え続けて、大震災に準備したいと考えます。

《これからのボランティア活動に関して》

鍼灸施術は多くの設備、道具を必要とせず、小さな鞆一つと少しのスペースがあればいつでもどこでも、まして停電中でも治療は出来るという究極のエコ医療です。対応できる症状も痛みだけでなく幅広い症状に対応できます。

近い将来発生するであろう南海・東南海大地震の発生時、和歌山が被災すれば全国から沢山の専門家、ボランティアの人々、そして鍼灸師が駆けつけてくれるでしょう。また、他府県が被災すれば我々も出来る限りの活動をしなければなりません。そのためには、人と人とのつながりを大切に、関係各位と連携を深め、和歌山の先生だけでなく、全国の鍼灸師の先生との繋がりを、強固なものとしていく必要があると考えます。様々なボランティア活動を通じ、参加する側、受け入れる側に何が必要で、何を備えないといけないかを、訓練を重ね学んで、実行していくことが重要と考えます。



(社)福島県鍼灸師会の先生方と福島のボランティア活動に参加された先生

[特集] 保険衛生(医事)功労知事感謝状を受賞して思うこと



副会長 出崎 哲也

平成25年・26年度理事に就任しました出崎哲也です。副会長を勤めさせていただいています。鍼灸師会に入会し早や11年が過ぎ、平成15年より3期青年部長をさせて頂き、保険部長としても3期目を迎えさせて頂きました。

平成25年4月に一般社団法人への移行が完了し、5月に新たに療養費制度等適正運用資料を作成し、各和歌山県内の保険者にも発送させていただきました。現在、療養費に関して保険者での裁量というのが非常に厳しくなっております。医師照会・患者照会を行っている保険者も増えてきております。ただ、我々鍼灸師としていつも指導会でもお伝えしております、「カルテの整備」を怠らなければ、何ら問題も無く、胸を張って治療に専念できると思っております。又、同意書を書いて頂く医師との疎通も非常に大事なことです。積極的に医師と鍼灸療養費に関するコミュニケーションを取って、先生方個人と医師との繋がりをより深めておくのも必要なことだと感じます。

日本鍼灸師会では現在、一部負担金で鍼灸院に受診できるように、関係省庁に働きかけています。現行の療養費制度から前進できるチャンスでもあると伺っております。

我々としては、きちんとした療養費運用を行い、鍼灸師としての自覚を持って治療に励み、一人でも多くの国民の皆さんに鍼灸をアピールできるよう心がけたいと思っております。

最後になりますが、昨年11月に知事感謝状を頂くことができました。会長はじめ理事の先生方、そして会員の先生方に支えて頂いたお陰で、このような感謝状を頂いたことを心より感謝致しております。



定時会員総会にて謝辞を述べる出崎氏

まだまだ未熟な点が多く、会長はじめ理事の先生方、また会員の先生方にご迷惑をお掛けすることがあるかとは思いますが、何卒、ご指導ご鞭撻の程宜しく願います。

[特集] 第32期鍼灸臨床研修会に 参加して



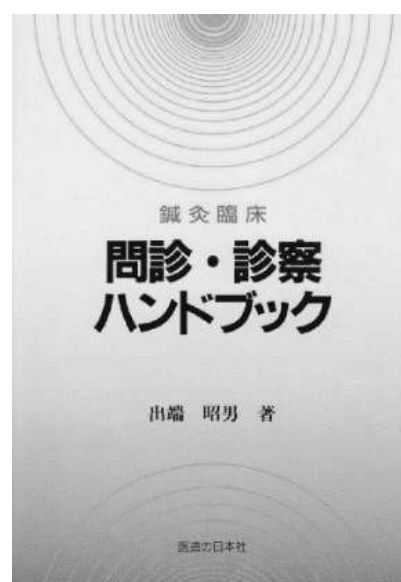
坂本 浩一 会員

平成24年9月15日から3日間、大阪市東成区の森ノ宮医療学園で行われた第32期鍼灸臨床研修会に参加してきました。私の住んでいる新宮から大阪まで紀勢線の特急「くろしお」に乗って4時間掛かります。今回は三重県松阪市で近鉄特急に乗り換えて大阪入りしました。森ノ宮駅を降りて東に向かい、府立成人病センターを通りすぎると、懐かしい風景が甦ってきました。実は今から25年程前、まだ森ノ宮医療学園が大阪鍼灸専門学校だった頃、年6回の講習会に参加していました。特に思い出すのが、森秀太郎先生の小児鍼の授業です。温厚なお人柄が印象の残る素敵な時間でした。その頃の記憶を辿り、ちょっと裏道に入ると当時の面影が残っていました。10分程歩くと森ノ宮医療学園に到着しました。建物は建て替えられ、時の流れを感じさせられました。

研修会は東京と大阪の2会場があるためか、大阪会場では主に西日本からの参加者で占められていました。因みに診察実習での私の相棒は岐阜の若い勤務鍼灸師の方でした。講師陣といえば、仙台や鹿児島、茨城、静岡等々、各方面から参上して戴いていました。軽妙な話し方の元吉先生、手作り人体模型を持参した高田先生をはじめ、親近感のある優しい先生ばかりでした。初日に早速、京橋駅近くの焼肉店で親睦会を敢行したためか、2日目以降ますますアットホームな雰囲気での研修が進められました。

研修のテキストとして、出端昭男先生の「鍼灸臨床 問診・診察ハンドブック」が配られました。この書は1987年の初版から現在まで20版を越え、大ベストセラーとなっています。出端先生の講演を一度だけ拝聴したことがあって、歯切れよい口調と論調に圧倒された記憶があります。長らく日本鍼灸師会学術部長を務められたのも大いに頷ける講演でした。

研修ではプログラムが同書に沿うように「腰痛・坐骨神経痛」「五十肩」「膝関節症」「頸・上肢痛」に分けられ進行了。特に診察方法では実習で、きめ細かく指導を受けました。日常の施術ではつつい省略してしまって、いつの間にか記憶の深みに沈み込んでしまった方法がちょっと頭を出したような感じでした。忘れていたことの恥ずかしさも、講師の先生方の熱心さで薄められた気がします。また参加前は自分の年齢から多少の気恥ずかしさもありませんでしたが、いざ研修に臨んでみるとそんなことも気にすることなく参加できたように思います。そんなこんなで、あっという間の3日間でしたが、最終日は台風の接近により時間が短縮され、特にディスカッションが中止されたのはとても残念でした。



今回の研修で感じたことは、やはり老いも若きも「外に出よう」ということです。10年以上も一匹狼で引きこもり状態だった私が言うのもおこがましいのですが、やはり外へ出て町に出て、たくさんの人に会い、たくさん話を聴いて、たくさんの引き出しを持つことが成長に繋がるのではないのでしょうか。

鍼灸師会のメンバーはもちろんですが、それ以外の鍼灸師たちにも、そのことを訴えたいと思います。

臨床に於いて、私たちは血液検査も画像診断も出来ません。ただ眼前の患者さんへの問診と身体の情報から診断と治療方針を組み立てなければなりません。それにはテキストだけではわからない部分が出てきます。

独り悩まず恥ずかしがらず、誰にでも尋ねてほしい、外に出てほしいのです。今までの私の経験でいうと、学会や研修会に参加しても、なかなかすぐに成果はでないでしょう。でもいつか、その蓄積が血となり肉となることでしょう。

今後、この臨床研修会をはじめ、学会等に参加することをお勧めします。



坂本会員の施術所(「にしき坂本鍼灸院」新宮市千穂)

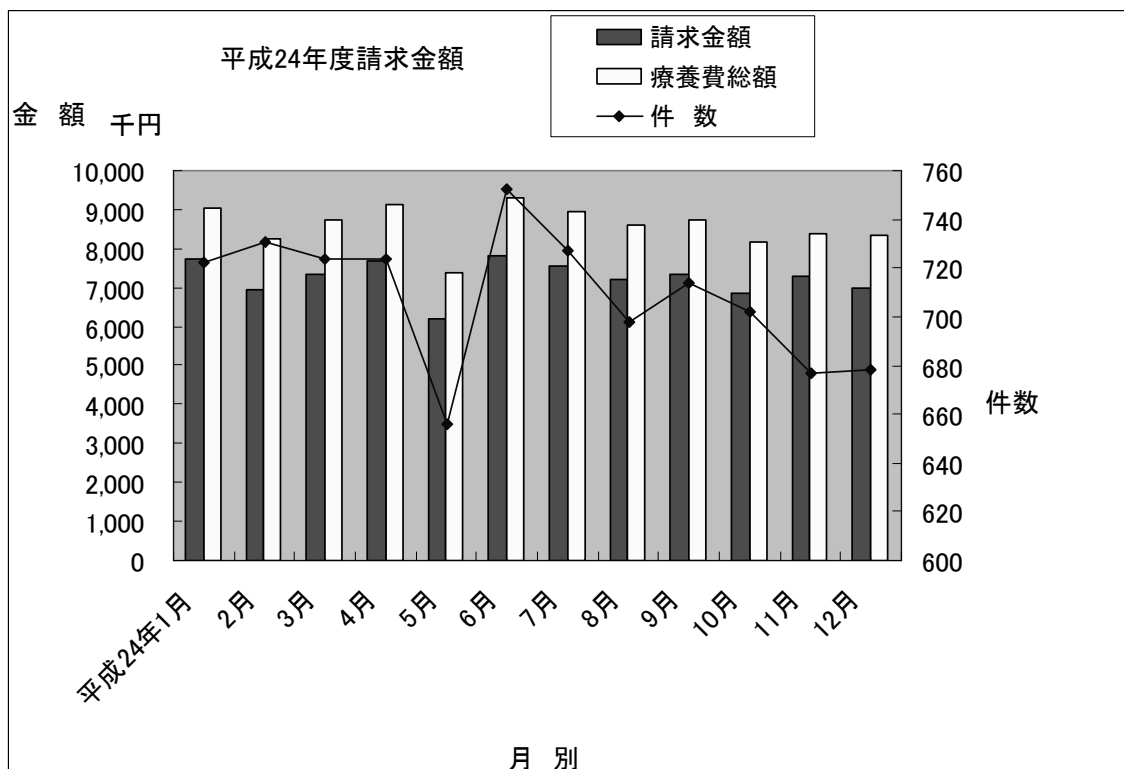
保険部より



保険部長 出崎 哲也

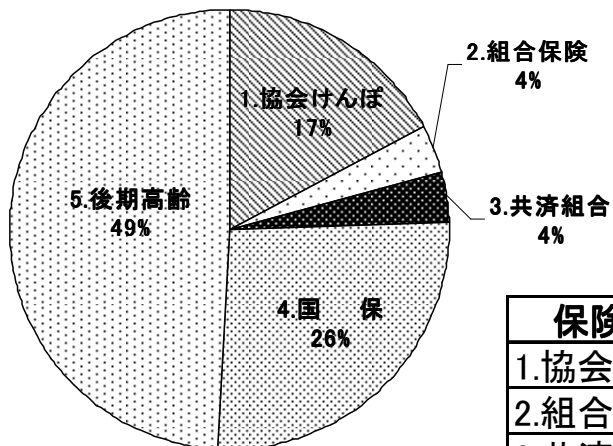
鍼灸療養費取扱い状況

1. 平成24年度請求金額



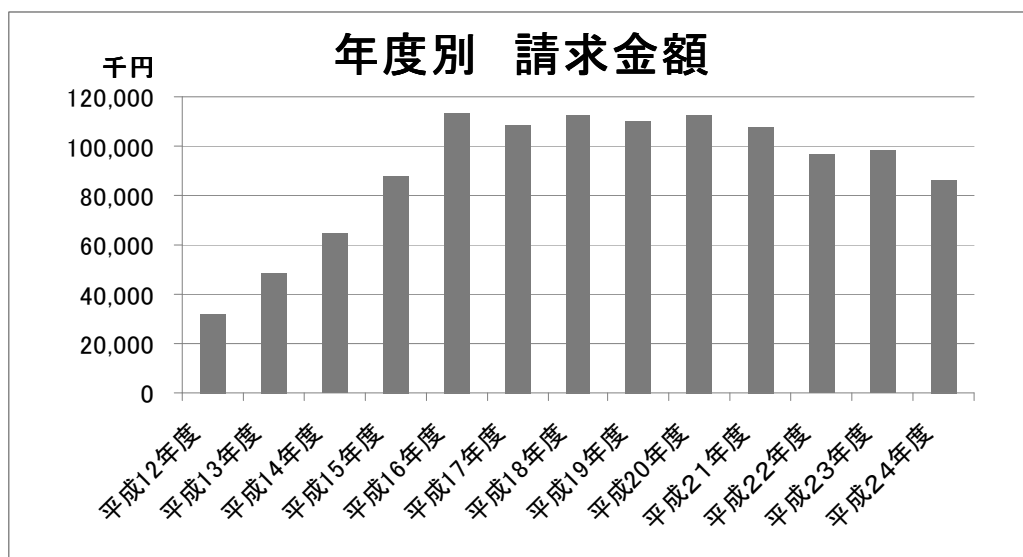
年月	申請数	件数	請求金額	療養費総額
平成24年1月	38	722	7,722,093	9,037,525
2月	39	731	6,934,699	8,256,486
3月	39	724	7,338,985	8,731,464
4月	37	724	7,690,081	9,118,688
5月	37	656	6,180,060	7,363,955
6月	38	752	7,824,114	9,307,755
7月	38	727	7,533,072	8,957,166
8月	37	698	7,192,516	8,586,645
9月	38	714	7,321,436	8,721,216
10月	38	702	6,839,109	8,158,302
11月	38	677	7,033,664	8,400,410
12月	38	678	6,977,612	8,323,480
合計	455	8,505	86,587,441	102,963,092
平均	38	709	7,215,620	8,580,258

2. 平成24年度保険者別請求金額



保険者別	件数	請求金額
1.協会けんぽ	1,462	8,193,546
2.組合保険	319	1,250,601
3.共済組合	308	1,264,175
4.国保	2,229	16,883,890
5.後期高齢	4,187	58,995,229
合計	8,505	86,587,441

3. 年度別請求金額



年度別	請求金額
平成12年度	32,005,277
平成13年度	48,719,713
平成14年度	65,105,530
平成15年度	87,976,501
平成16年度	113,404,645
平成17年度	108,810,673
平成18年度	112,559,642
平成19年度	110,474,582
平成20年度	112,553,746
平成21年度	108,357,999
平成22年度	96,463,045
平成23年度	98,059,390
平成24年度	86,587,441

※年度別請求金額内訳は
各年度の1月～12月で計算

和歌山県鍼灸師会療養費等請求と県後期高齢者医療広域連合支給の比較

平成23年12月、和歌山県後期高齢者医療広域連合長より、「はり師、きゆう師及びあん摩・マッサージ・指圧師の施術に係る療養費支給申請における施術料・往療料の適正請求について」の通知文が県内鍼灸師に送付された。

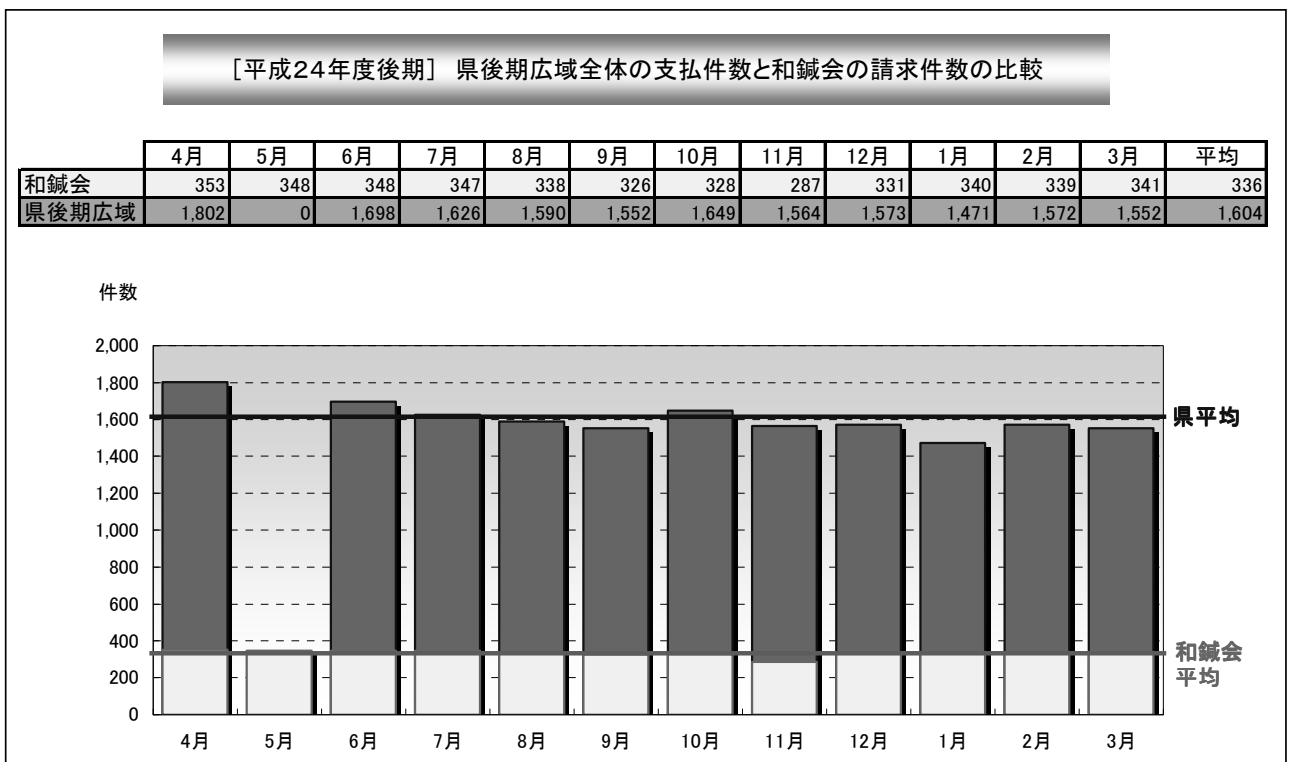
経緯については、和歌山県鍼灸3団体と県健康づくり推進課・広域の5者間協議会を3回行い、特に往療についての協議が行われた。平成24年2月に厚生労働省保険局医療課より「はり、きゆう及びあん摩・マッサージの施術に係る療養費の取扱いに関する疑義解釈資料」所謂Q&Aが発表され、現在の療養費取扱いの支給基準となっている。

今回、平成24年度後期高齢者医療広域連合への請求件数・金額をグラフ化してみた。

但し、5月分だけは、国保連合会から広域連合に審査が移行された為、県全体の件数・金額は0になっている。

グラフ① 和歌山県後期広域連合の件数と和鍼会の請求件数の比較

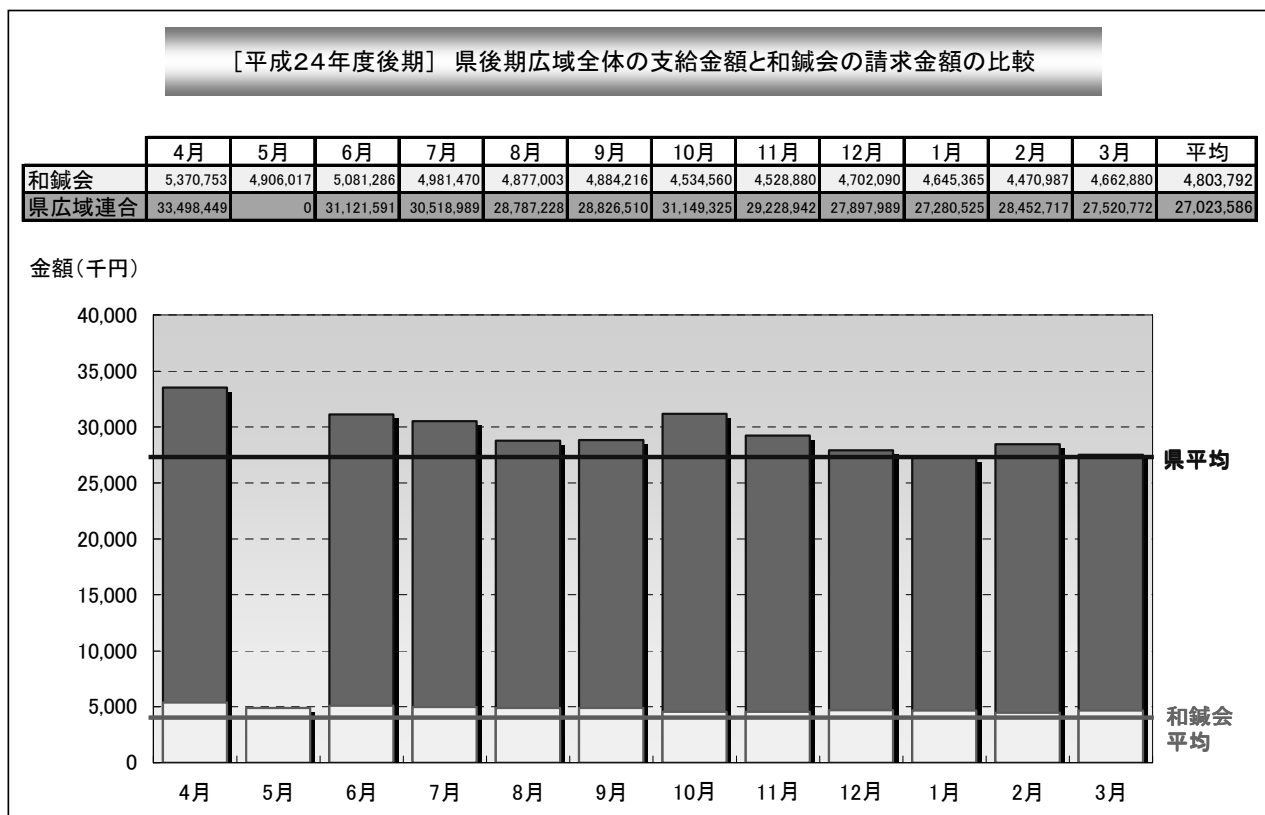
県後期広域全体の平均が1,604件に対し和鍼会の平均が336件、割合平均が20.9%



グラフ② 和歌山県後期広域連合の支給金額と和鍼会の請求金額の比較

県後期広域全体の平均27,023,586円に対し

和鍼会の平均が4,803,792円、割合平均が16.3%

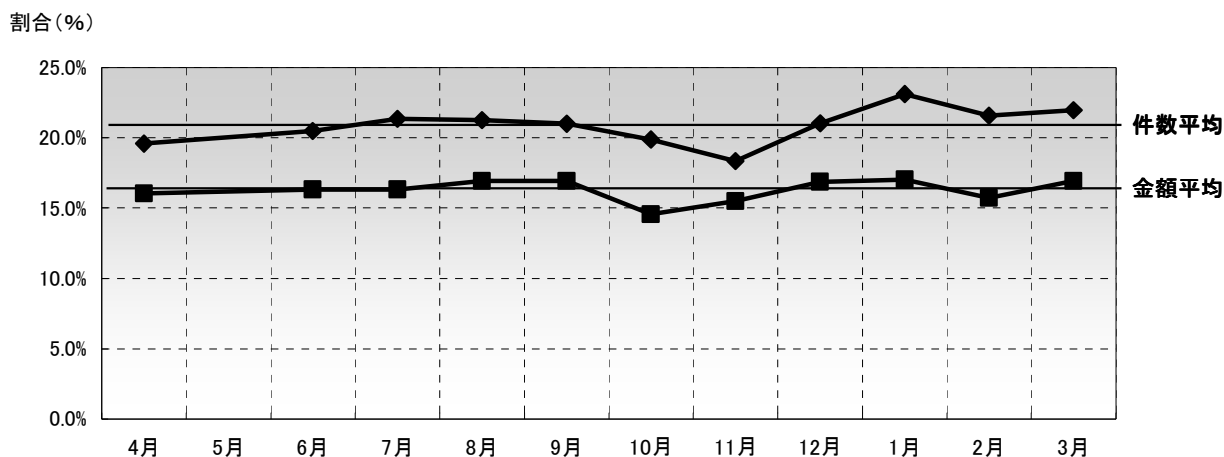


グラフ③ 和歌山県後期広域全体と和鍼会が占める請求件数・金額の割合

[平成24年度] 和歌山県後期広域全体と和鍼会が占める件数、金額の割合

(申請書1枚あたりの平均請求額 14,297円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
件数(◆)	19.6%		20.5%	21.3%	21.3%	21.0%	19.9%	18.4%	21.0%	23.1%	21.6%	22.0%	20.9%
金額(■)	16.0%		16.3%	16.3%	16.9%	16.9%	14.6%	15.5%	16.9%	17.0%	15.7%	16.9%	16.3%



この3つのグラフを見て、和鍼会が占める割合が非常に少ないように思った。しかし、他2団体・個人請求者がどれ位の割合で申請しているかは分からないが、和歌山県後期高齢広域連合の文章が出て以降、和鍼会では、往療に関しても適正に申請するよう指導している。そういう経過もあつてか、申請書1枚あたりの平均請求額は14,297円である。この金額が多いのか少ないのかといえば、妥当な金額であると思われる。例えば今後、往療が減り、来院数が増えても、施術単価が低い為、平均請求金額は下がるとと思われる。

因みに、平成23年度の県全体の件数・支給額は22,342件・485,620,463円である。

これに対し平成24年度は17,649件・324,283,037円である。前年度よりも4,693件・161,337,426円と件数・支給額ともに減少している。

現在、広域連合は独自での審査を行っており、非常に細かな部分まで審査されている。

また、他の保険者に関しても同じことが言える。それに伴い、申請件数・支給額が減少しているものもあるが、医師への同意照会や患者への照会が増えているのも一つの要因であると考えている。

我々鍼灸師は国民に信頼される医療人として、日々努力を重ね、今後も、きちんとした療養費取扱いをすることにより、国民・医師・保険者等との信頼関係をより強固なものにしていかなければならないと感じている。



学術部より

学術**ぶ**通信



学術部長 藪中 浩之

平成25年度より、学術部長をさせていただいております藪中浩之です。まだまだ未熟者ですが、会員の皆様に喜んで頂けるような企画を考えて参りますので宜しくお願い申し上げます。

さて、今年度も会報発行の季節となりましたので、学術部からは学術部通信という形で前年度の活動報告や今年度の活動予定のご案内・全国の学術講習会案内等を掲載させて頂きたいと思っております。

平成24年度 学術部活動報告

○県民公開講座 第9回 はり・きゅう講演会

平成24年11月11日(日)和歌山市三沢町 中央コミュニティーセンター大ホールにて、第9回 はり・きゅう講演会を開催致しました。

今回は「身心一如 ～身体が心をつくり、心が身体をつくる～」という古くから東洋医学に伝わる言葉をテーマとし開催いたしました。

講師には、第1部 関西医療大学・准教授(現教授) 近藤哲哉 先生(医師)、第2部 明治医療大学・准教授 福田文彦 先生をお招きして、身体と心の関わりを東西両医学の視点からご講演いただきました。

第1部の近藤先生からは、「こころとからだをつなぐ医学」という演題で、西洋医学の視点に東洋医学の視点を交えた非常に興味深い角度から、ご講演いただきました。

第2部の福田先生には、「東洋医学で心と体の健康管理」という演題で、身心のすこやかな状態を保つ為に東洋医学ならではの角度から、県民の方々にも分かりやすい内容でご講演いただきました。

続いて第3部では、近藤先生・福田先生と当師会の萩野会長を交えたパネルディスカッションを「こころと向き合う」というテーマにておこないました。

このディスカッションでは、まさに東西両医学による2方向の視点から、それぞれ特徴のある見解があり、素晴らしいディスカッションとなりました。そして、パネリストである3名の先生方の深い経験も生かされた、教科書だけでは知りえない貴重なお話をお聞きすることができました。

今回、当師会の県民公開講座 はり・きゅう講演会を開催するにあたり、近藤先生、福田先生には大変お世話になり誠に有り難う御座いました。また、ご講演いただきました貴重なお話を今後の日々の臨床に生かしていきたいと思っております。



萩野会長の挨拶



近藤先生の講演の様子

○第1回学術・青年部合同研修会

昨年度の第1回学術・青年部合同研修会は、和歌山県鍼灸師会の新しい試みとして、平成24年7月21日・22日の2日間の日程で、「一泊研修会in那智勝浦」を開催致しました。



研修1日目は、第1回目という事もあり、那智勝浦町のお店にて意見交換会を兼ねた「懇親会」からスタート致し、沢山の先生方にお集まり頂き、貴重なご意見をお聞きする事が出来ました。そして、おいしい料理にお酒もすすみ、時間を忘れて日頃の臨床のアドバイスを熱心にご教授頂いた事が、若い鍼灸師にとって最高の研修1日目となりました。

研修2日目は、那智勝浦町体育文化会館にて療養費制度等適正運用指導会の終了後に、今回の一泊研修会のメインである「奇経治療について」を中野正得会員にご講義頂きました。研修内容は、奇経治療というと奥が深く複雑なイメージですが、非常に分かりやすくご講義頂き、明日にでも臨床で使えるように簡潔であり的確な内容の実技も披露して頂きました。

今回、初の一泊研修会in那智勝浦でしたが、「参加して良かった」という嬉しいお言葉を頂けて、開催して本当に良かったと思えました。そして、開催にあたり現地の弓場会員、講師の中野正得会員には、ご多忙中にも関わりませうご尽力いただきましたこと、深く御礼申し上げます。



○第2回学術・青年部合同研修会 治療院見学会

平成24年12月23日に第2回学術・青年部合同研修会を開催致しました。この研修会は、治療院見学も兼ねた研修会となっており、今回で開催3回目となりました。

今回は、前嶋拓也会員の施術所にお邪魔させて頂き、鍼灸師を目指した動機から資格取得、施術所開設、そして現在に至るまでのご苦労された体験談や、良かった試みの経験談を惜しみも無くお話し頂きました。勉強会内容は、ナガタクリニック院長 長田 裕先



生（医師）考案の「無血刺絡療法」を

実技披露して頂きました。この施術方法は、非常に微細な刺激でありながら、高い鎮痛効果を実感する事ができ、驚きの連続でした。



そして、研修会終了後に和歌山駅前にて、毎年恒例の懇親会を合わせて開催させて頂きました。年末という時期もあり懇親会というよりは忘年会といった感じで、堅苦しさ全くなし、和気あいあいとした雰囲気の中で今年1年の疲れを癒すかのように、楽しい時間を過ごす事が出来ました。ご参加頂きました先生方、講師の前嶋会員、本当に有り難う御座いました。



第1回学術講習会

平成25年2月17日 マリーナシティわかやま館にて、第1回学術講習会を開催致しました。今回は「未来の鍼灸について」という今までになかった新しいテーマで、講師は茂原 仁会員にご講義して頂きました。講義内容は、現在医療の中で鍼灸師及び鍼灸施術のおかれている現状や問題点について、今後の課題や求められるニーズについてなど、様々な角度からご説明して頂きました。この講義は、現在（公社）日本鍼灸師会をはじめ、近畿ブロック師会専門チームでも盛んに議論されております「鍼灸師法制定」に向けて、知っていなければいけない内容であり、知っていなければ共に議論する事も出来ない重要な内容であったと思います。

「鍼灸師法制定」は非常に難しい問題が沢山御座いますし、複雑な内容も多く、つい他人事のように目を背け、耳を塞ぎたくなくなってしまいがちですが、我々が業としている「鍼灸」の未来についての大事なお話ですので、今後、会員同士で共に少しずつでも勉強していければと思います。

今回、難しいテーマにも関わらず、的確に分かりやすくご講義頂きました、茂原会員には心より深謝申し上げます。

平成25年度 学術部活動計画

○第1回 学術・青年部合同研修会

平成25年8月4日(日)和歌山県鍼灸師会事務所にて、講師 竹中秋生会員による「テーピング講習会」を開催致しました。

今回は、足関節だけではなく、様々な部位の臨床に使えるテーピング法をご講義頂きました。

詳しい内容については、来年度の会報にてご報告させていただきます。

○第10回 県民公開講座 はり・きゅう講演会

平成25年11月10日(日)有田市文化福祉センターにて、有田市消防本部 救急係の先生方による、普通救命講習会(心肺蘇生法・AED 自動体外式除細動器の取扱い)を開催させて頂く予定となっております。

いつ発生するか分からない東南海・南海大地震、スポーツ現場や日常での緊急時に、知っていれば、復習していれば必ず役立つ講習内容だと思いますので、是非、ご参加をお待ちしております。詳しくは後日、学術部からご連絡させていただきます。

○第2回 学術・青年部合同研修会 治療院見学会

平成25年12月22日(日)に第2回学術・青年部合同研修会 治療院見学会(第4回目)を開催させていただきます。

今回は、西牟婁郡上富田町の中井 健会員の施術所にお邪魔させて頂く予定となっております。詳しくは準備が整い次第、青年部からご案内させていただきますので宜しくお願い申し上げます。

○第1回 学術講習会

平成26年3月21日(金)第3回 療養費制度等適正運用指導会の終了後に、第1回学術講習会を開催させていただきます。講師は、石田国豊会員で「小児鍼・スキンタッチ」についてご講演頂く予定となっております。

詳しくは日程が近づき次第、学術部からご案内させていただきますので宜しくお願い申し上げます。

○(公社)日本鍼灸師会主催 学術関係のご案内

- ・平成25年 9月14日～16日 第33期鍼灸臨床研修会 (弓場会員 参加)
- ・平成25年10月13日～14日 第9回全国大会inおかやま(発表:萩野会長・坂本会員)
- ・平成25年11月24日 第4回鍼灸臨床スポーツフォーラム 大阪

最後に～学術部からのお願い～

会員の先生方の興味がある分野や、開催してみたい講演内容が御座いましたら藪中までご連絡ください。今後の学術部活動に活かしていきたいと思っておりますので宜しくお願い申し上げます。

青年部より



青年部長 前嶋 拓也

平成25年度から学術部長から青年部長に就任しました前嶋拓也です。学術部に在籍していたとき以上にご支援をお願いすることがありますが、よろしくお願い申し上げます。

和鍼会の青年部は、かつて出崎会員・藪中会員とバイタリティー溢れる先生方が歴任されてきた部門で、私は歴代青年部長と同じようなことが出来ませんので、自分なりに「次世代鍼灸師へのつなぎ役」として、担当させていただく所存です。会員の皆様にはご指導賜りますようお願い申し上げます。

第1回 学術・青年部合同研修会のご報告

平成25年8月4日(日)に(一社)和歌山県鍼灸師会事務所にて第一回 学術・青年部合同研修会を開催しましたので、ご報告いたします。

講師:竹中 秋生 会員

内容:テーピング講習会(足関節・肩関節を中心として)



一般的には「固定」するイメージのテーピングを明日からの臨床でも使用できる方法をご教授いただきました。参加された先生方熱心に練習に取り組んでおられ、質疑応答も実際の臨床症例についての質問が出るなど熱気が感じられました。私もキネシオテープを使用した、経筋治療を披露しました。

次回の学術・青年部合同研修会は、平成25年12月22日に中井 健 会員施術所で開催いたしますので、会員の皆様の奮ってのご参加、お待ちしております。

今後とも学術部と青年部にご支援賜りますようお願い申し上げます。

近畿ブロック青年部一泊研修会のご紹介

今回は近畿ブロック青年部一泊研修会の内容についてご紹介いたします。

近畿ブロック青年部一泊研修会は毎年3月の第二土曜日と日曜日の二日間、近畿ブロック各師会が担当を毎年持ち回りで開催しております。

和歌山県主管の下では平成20年3月8日・9日に『国民宿舎 紀州路みなべ』で開催されました。当時、出崎青年部長を中心として、各師会の普及啓発活動の意見交換やスポーツ障害についての講義と実技披露が行われました。

例年は、最初に担当師会の会員の先生による学術研修会が開催され、懇親会開宴までの時間を利用して近畿ブロック青年部長会議が開催されます。懇親会の後は二次会…と続いていきます。翌日は、観光や文化に触れる体験が中心となっており、正午頃に終了となります。ここ最近は、翌日も研修会を開催する運びとなっております。

今年度は来年3月に大阪府内で開催されます。青年部一泊研修会は、他府県の先生方と経営面や技術・知識面のノウハウなど意見や情報交換できる絶好の機会です。会員の皆様のご参加をお待ちしております。

今後ますますの発展を祈願して鍼灸業界を盛り上げて行きましょう！

第18回紀州口熊野マラソン 鍼灸ボランティア活動のご紹介

紀州口熊野マラソンは毎年 2 月の第一日曜日に開催されており、平成 26 年 2 月 2 日(日)に第 19 回 大会が開催されます。また、ハーフマラソンとフルマラソンは、日本陸上競技連盟公認大会です。

(一社)和歌山県鍼灸師会では、平成 18 年から紀州口熊野マラソンにて鍼灸普及啓発を目的としたボランティア活動を行っております。

今年度も鍼灸ボランティア活動をしてまいりますので、会員の皆様の奮ってのご参加、お待ちしております。鍼灸普及啓発活動をして行きましょう！



紀州口熊野マラソン HP <http://kuchikumano-marathon.jp/>

総務部より

新入会員紹介



南谷浩伸 (平成24年11月7日入会)

- 出身校 明治東洋医学院専門学校
- 免許取得 平成19年
- 御挨拶

この度、和歌山県鍼灸師会に入会させて頂きました南谷浩伸です。よりよい鍼灸治療を行えるよう精進してまいりますので、ご指導ご鞭撻の程よろしく申し上げます。



土井隆弘 (平成25年4月1日入会)

- 出身校 森ノ宮医療学園専門学校
- 免許取得 平成19年
- 御挨拶

初めまして、この度、和歌山県鍼灸師会に入会させて頂きました、土井隆弘と申します。森ノ宮医療学園専門学校を2007年に卒業、同時期に『はり師』『きゅう師』に免許を取得しました。そして、大阪、神戸で経験を積ませてもらい、10年ぶりに、和歌山に帰り『土井はりきゅう治療所』を開院する運びになりました。まだまだ未熟者ですのでご指導の程よろしく申し上げます。



出口智子 (平成25年4月23日入会)

- 出身校 関西医療大学 保健医療学部 鍼灸学科
- 免許取得 平成21年
- 御挨拶

はじめまして、今春和歌山県鍼灸師会に新入会いたしました、出口智子と申します。大学を卒業後、和歌山の鍼灸院で1年、大阪のペインクリニックに3年間勤務し、今年の4月に出身地である御坊に戻ってまいりました。鍼灸師の免許を取得して今年で5年目になります。私が初めて鍼治療を受けたのは小学6年生の時でした。頭痛の症状が続いている時に家族のすすめで鍼治療を受けたところ、うそのように症状が楽になり、子供ながらに驚いたのを今でもよく覚えています。それ以来私は鍼の虜になり、10代の頃から何かある度に鍼灸治療に助けられてきました。現在、御坊市の接骨院に半日勤務しながら、残りの半日は出張専門で鍼灸もさせて頂いております。日々施術させて頂いている中で、鍼灸を全く受けたことがないという方に出会うことが多く、意外と鍼灸が浸透していないということを知りました。これからもっと地元の方々に(特にお若い方に)鍼灸の良さを広めていけたらと思っております。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

「特別警報」が発表されたら、
ただちに命を守る行動をとってください。

気象庁は、平成25年8月30日(金)に「特別警報」の運用を開始しました。

気象庁はこれまで、大雨、地震、津波、高潮などにより重大な災害の起こるおそれがある時に、警報を発表して警戒を呼びかけていました。これに加え、今後は、この警報の発表基準をはるかに超える豪雨や大津波等が予想され、重大な災害の危険性が著しく高まっている場合、新たに「特別警報」を発表し、最大限の警戒を呼び掛けます。

近年あらゆる災害が発生しており、和歌山県内における災害に対して和歌山県鍼灸師会は随時「情報収集」、「会員および会員家族の安否確認」を行い必要に応じて日本鍼灸師会へ報告を行っております。

このような活動を行っている経緯は、阪神淡路大震災が平成7年1月に発生し各地で防災に関する意識が高まりました。平成15年10月を最初に日本鍼灸師会 近畿ブロック会議において、南海、東南海地震発生時における近畿ブロックの連携について審議しました。結果、阪神淡路大震災(平成7年1月)の教訓を生かし、全国と近畿、そして被災するであろう和歌山県との連携することに可決されました。

当時(社)兵庫県鍼灸師会 佐伯会長より体験談と提議をいただき、災害発生時の混乱時にいかにして、下記の項目を把握する事が重要である旨、ご指摘がありました。

1. 会員の安否確認を素早くできるか

通信手段が寸断された状態での調査方法が困難であったため、現在の通信システムの最大活用を目的として事前調査が必要。

2. 会員の避難場所の確認

会員の避難先が把握できなかったため、手間取り困惑した為、事前調査が必要。

3. 会員の被災状況調査について

被災状況の確認方法と調査についてスピードが求められる。

4. 家族構成について

崩壊家屋に誰が同居しているか、誰がまだ救出されていないか等、消防等との連携に必要。

5. 救援物資等の搬送について

家族構成により、例えば女性がいれば生理用品、寝たきり老人がいればオムツ等を必要としていることを師会が把握しておく必要がある。

安否確認、家屋の被災状況により、被災会員は師会に何を求めているか推測し素早く救援物資の発送に取り掛かれるように事前調査と準備の必要がある。

6. 被災地区の交通手段

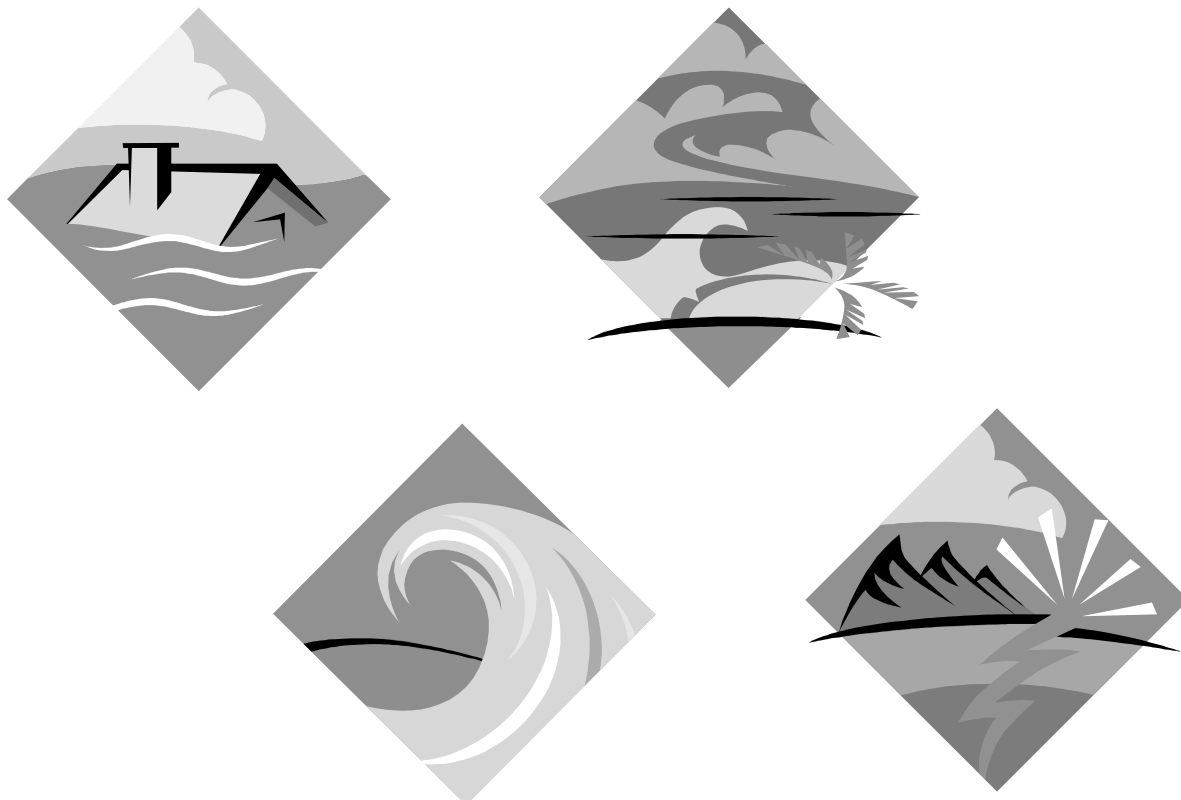
バイク、自転車、船舶のみ有効となり自動車は使用不可と考えるべきである。したがってバイク、船舶を所有し運転可能な会員の協力が重大となる。

以上の経緯より、和歌山県鍼灸師会では震災に対応するため、1～6. までは事前調査する必要があり会員震災台帳調査表を作成しております。但し、この情報だけでは不十分であり最小限必要な調査票の内容と考えております。

東海・東南海・南海地震では和歌山県は甚大な被害が想定されております。皆さんは、地震のことを想像しておりますか。私の住んでいる地域では、河川の逆流により M9クラスの地震では5～10メートルの津波が予想されており、会員皆さまの調査票を管理していても活用できない場合があります。そのため、会員震災台帳調査表の情報は、和歌山県鍼灸師会会長はじめ、大阪府鍼灸師会で管理していただいております。

また、被災者は県内全域に及ぶため、皆さまも被災者となるかも知れません。普段からの防災、減災に取り組んでいただき、人を助けるためにはまず、ご自身が無事でなければなりません。東南海・南海地震に遭遇しお互いが被災者同士となる状況を想像すると、目の前でやらなければならないことがあるのに時間をかけての安否確認には、限界があります。そんな時には、携帯電話のメール機能を活用し「大丈夫か?」「大丈夫!」と連絡できれば、1分もかかりません。現在のネット環境は大変優れておりこのような連絡方法を選択しては如何でしょうか。和歌山県鍼灸師会の安否確認に関わらず、普段からの情報共有はご家族・ご親戚・お知り合いにも同じことが出来るのではないのでしょうか。

あらゆる自然災害に備え、会員震災台帳調査表を活用していく予定です。現在提出いただいている内容に変更等があれば、総務部までご連絡ください。



きしゅう君の家 登録について

きしゅう君の家 防犯活動とは、平成18年5月から犯罪や事件から子供達を見守るため、和歌山県警察本部ならびに和歌山県教育委員会との連携により、和歌山県鍼灸師会は「きしゅう君の家」として会員施術所を登録しております。登録された会員の氏名、施術所所在地、住所及び電話番号は、和歌山県警察本部、県教育委員会、県下の小学校等に情報が通知されます。

緊急の場合に、子供達が助けを求めることができる「きしゅう君の家」これは特別な施設ではなく、この制度にご協力いただける施術所や一般家庭の地域住民が、犯罪に巻き込まれそうな子どもの安全を確保し、110番通報することが第一の目的であります。

きしゅう君の家



一般社団法人 和歌山県鍼灸師会

和歌山県警察本部 警察署

使用鍼の回収について(廃棄費用は無料)

使用済みの鍼などは、産業廃棄物として専門業者に届ける必要があります。一般のゴミとして廃棄すると法律により罰せられます。各施術所において使用された鍼、および血液含む綿花等は、和歌山県鍼灸師会に提出して頂きますようお願い申し上げます。

提出方法:容器は、2リットル以下のペットボトルとする。内容物が出ないように、しっかりと包装し容器表面には「使用済み鍼」と明記する。



入会のご案内

本会は、昭和63年に社団法人和歌山県鍼灸師会として誕生し、平成25年度から一般社団法人和歌山県鍼灸師会へと移行し新たなスタートをきっております。

近年、鍼灸施術はその効果をメディア等でも注目されてきておりより一層高いクオリティを求められております。

医療業界においても「チーム医療」の体制である今、鍼灸専門の職能団体として「チーム鍼灸」の形が必要ではないでしょうか？

『all for one・one for all』 ～一人はみんなの為に、みんなは一人の為に～
あなたの力が必要です。共に活動していきましょう！！

※主な事業内容（ホームページもご覧ください）

(1) 鍼灸学術の医学的研究

【学術講習会、専門領域研修会、公益社団法人日本鍼灸師会 全国大会 etc.】

※治せることができる鍼灸師 そのためには勉強と先輩との出会い！

(2) 鍼灸施術の普及啓発

【ホームページ等で情報公開、スポーツボランティア活動、県民公開講座】

※多くの県民の方々に鍼灸の素晴らしさを体感していただいております！！

(3) 鍼灸業務の振興及び地域貢献【災害時鍼灸ボランティア活動 etc.】

※東日本大震災や台風災害時にも参加してきました。将来に備えましょう！

(4) はり師・きゅう師の資質向上および指導【講習会及び会員ディスカッション etc.】

※もっと国民や他の医療機関から信頼され、豊かな鍼灸師になる為には？

(5) 鍼灸療養費制度【鍼灸療養費制度等適正運用の説明会】

※療養費制度を正しく理解して、しっかり活用しましょう！！

全国的にもトップレベルな資料をご用意し説明をさせていただきます

(6) 鍼灸賠償責任保険・所得補償保険・日鍼会保障プランをご用意

※ご入会いただける方は、和歌山県に居住し、又は県内で業務を行う医師又は、はり師もしくは、きゅう師であって この法人の目的に賛同し入会した者にかぎりです。（定款より）

入会金		入会金 10,000円
年会費	公益社団法人 日本鍼灸師会	年会費 15,000円
	一般社団法人 和歌山県鍼灸師会	年会費 20,000円
合計		合計 45,000円

詳しくは、事務所または HP でお気軽にご相談、お申込みください。

広報部より

和歌山県鍼灸師会HP活用のご案内

現在、広報部では、総務部と共同でHPの活用化に取り組んでいます。

すでに皆さんご存知とは思いますが、この5月からの療養費制度等適正運用資料の改訂に伴い、HP(会員専用)から資料をダウンロードできるようになっています。特に、詳細な分類分けをおこない必要な資料だけを見ることができます。

この機能により分厚いマニュアルを保持する必要がなくなったというご意見を伺っています。また、合わせて鍼灸療養費料金早見表もHPから見るできるようになっています。

今後、連絡網などの資料も随時 HP 上に公開していく予定にしておりますが、何かご要望ございましたら、HPの「お問い合わせ」からご連絡をお願いします。

1. 療養費制度について		217KB
2. 同業者について		162KB
3. 記入要領	①履歴簿	516KB
	②送付表・申請書	586KB
	③送金通知書・請求書	525KB
	④支給申請書一覧表	492KB
4. 記入例	①療養けんま・組合・組合・共済保険	1,058KB
	②共済組合、合済払いの保険者への請求	402KB
	③国保・退職者・高齢者	1,735KB
	④後期高齢者	516KB
	⑤老人41・重傷80・乳幼児1・心と呼吸82	1,661KB

和歌山県鍼灸師会 Facebook 活用のご案内

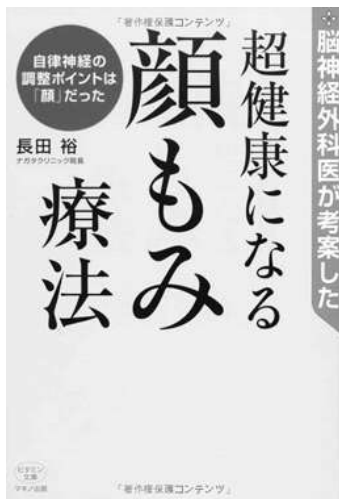


現在、Facebook 上に和歌山県鍼灸師会のページを作成しております。（“和歌山県鍼灸師会”で検索してください）

目的としては、会員同士の情報の共有、および一般の方とのコミュニケーションの場になればと思います。そして、もうひとつの目的として、和歌山県鍼灸師会のHPの更新をタイムリーにお伝えすることができます。

現在、Facebook 上の和歌山県鍼灸師会のページには48名の方にご賛同いただいています。もっとたくさんの方に「いいね」をしていただき、より一層の交流をはかっていきたいと思っております。

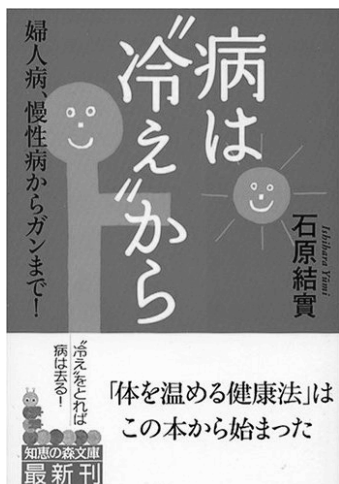
推薦図書のご案内



『超健康になる 顔もみ療法』 著者:長田裕

長田先生は、無血刺絡療法(別名:痛圧刺激療法)と養生指導の二本柱で、薬を使用せずに病気を治す自然に回帰した医療を実践されております。医学の聖人ヒポクラテスは、「人間は誰でも身体の中に100人の名医を持っている」・「病気は人間が自らの力をもって自然に治すものであり、医者はこちらを手助けするものである」と説いています。長田先生は正にヒポクラテスの教えを実践している数少ない医師です。

確かな養生法を覚え、自分自身の力を信じて、元気で生きる喜びを実感しませんか? 養生の重要性が多くの人に伝われば、年々高騰する医療費の抑止にも繋がると信じております。

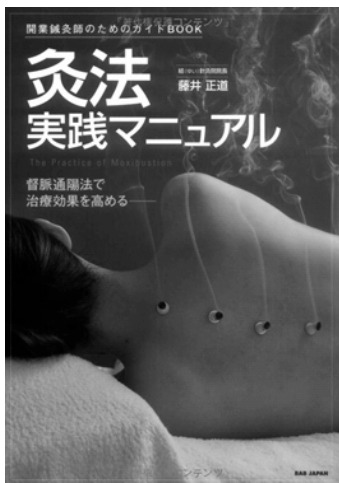


『病は“冷え”から』 著者:石原結實

皆さんご存知の石原先生の「体を温める健康法」のバイブル的な本です。特に虚証の患者さんには参考になるところが満載です。

現に、冷えがきつい患者さんに、温めることを中心に治療したところ体質改善に成功した例もあります。治療効果がなかなかでない時などは、この本を読み返して治療のヒントを探したりしてます。

一般の方にも、参考になるところがたくさんありますので、一読をおすすめします。



『灸法 実践マニュアル』 著者:藤井 正道

著者の藤井先生は大阪の吹田市で開業されており、関西中医鍼灸研究会の代表をされている方です。

最近、若い女性の中でお灸がひそかなブームとなっているのをご存知でしょうか?“お灸女子”などという言葉もできているほどです。この本の中では、色んな種類のお灸を丁寧、具体的に紹介されており臨床で試してみたいくなるようなことがたくさんあります。

きっと“お灸女子”を満足させてあげられると思います。

＜平成25年度 一般社団法人 和歌山県鍼灸師会 定時会員総会 概略＞

平成25年6月9日(日) 紀南文化会館 研修室2、3に於いて開催されました。

本年度は、任期満了による役員改選の年となり、平成25、26年度 選任された理事及び監事は次の通りである。

理事 萩野 利赴	理事 前嶋 拓也	理事 出崎 哲也	理事 中田 浩
理事 藪中 浩之	理事 竹中 秋生	理事 木下 真人	
監事 中 美博	監事 吉井 久和		

名誉会員について、吉井義郎会員は、和歌山県鍼灸師会の発起人であり、法人の認可を受けた昭和63年8月12日～平成13年4月29日までの12年8カ月の間「理事、会長、旧保険審査委員、日本鍼灸師会代議員」として活躍され その間、知事感謝状は昭和53年と平成6年の2回受賞。知事表彰は、平成16年に受賞されております。また平成13年4月29日から現在までの12年1カ月の間 名誉会長として在籍されております。吉井義郎会員の現在までの経歴を称え「定款第3章6条2 名誉会員 この法人に特に功労のあった者又は学識経験者で理事会の推薦により会員総会の決議により承認されたものとする。」とされており、一般社団法人 和歌山県鍼灸師会 名誉会員とすることが承認可決されました。

報告事項として、平成25年4月1日 一般社団法人 和歌山県鍼灸師会として移行登記を完了し、新たなスタートになりました。

厚生労働大臣賞(東日本大震災)について、平成23年5月の連休を利用してボランティア活動してきたことが認められ、厚生労働大臣感謝状を受賞されました。

平成24年度 保健衛生(医事)功労知事感謝状について、本会から出崎哲也会員が平成24年11月27日 ホテル アバローム紀の国 孔雀の間で受賞されました。

会員表彰について、次の会員は永年にわたり一般社団法人 和歌山県鍼灸師会の発展に多大な貢献し、その功績は誠に顕著でありその功績をたたえ会員表彰されました。

会員表彰者氏名(役員従事期間:ヶ月)

大田真史会員(146)、廣田喜紀会員(144)、北川琢也会員(142)、
中野正得会員(120)、竹中秋生会員(120)

平成24年度 事業報告

一般社団法人 和歌山県鍼灸師会
会 長 萩野 利赴

1. 会員状況

平成24年4月1日	増 加	減 少	平成25年3月31日
67名	岩垣 雅夫 村垣 真規子 南谷 浩伸 (3名)	柏木 信人 中村 利男 村垣 真規子 嶋 稔彦 (4名)	66名

2. 平成24年度 事業報告

(1) 社団法人 和歌山県鍼灸師会関係

和鍼会監査	5月 6日	和鍼会事務所
通常総会	5月27日	マリーナシティわかやま館301
臨時総会	1月14日	紀南文化会館 研修室2、3
会員親睦会	7月21日	居酒屋「吾作」
	12月23日	「坐・和民」
理事会	(第1回) 平成24年5月 6日	和鍼会事務所
	(第2回) 平成25年2月17日	マリーナシティわかやま館301号室
FAX理事会	(第1回) 平成24年5月18日	(第7回) 平成24年11月 7日
	(第2回) 平成24年5月23日	(第8回) 平成24年12月23日
	(第3回) 平成24年6月 1日	(第9回) 平成24年12月27日
	(第4回) 平成24年7月23日	(第10回) 平成25年1月11日
	(第5回) 平成24年7月24日	(第11回) 平成25年3月18日
	(第6回) 平成24年8月18日	(第12回) 平成25年3月27日

1. (社)和歌山県鍼灸師会関係

公益法人

一般社団法人作業	4月 29日	和鍼会事務所
一般社団法人申請書類 質問	7月 6日	医務課
一般社団法人申請書類(書類郵送)	10月 4日	医務課
一般社団法人申請書類 再提出	12月 18日	医務課
一般社団法人申請書類 再提出	12月 27日	医務課
一般社団法人申請 臨時総会議事録	1月 23日	医務課

一般社団法人申請書類 再提出	1月 31日	医務課
一般社団法人申請書類 再提出	2月 8日	医務課
一般社団法人申請書類 再提出	2月 26日	医務課
一般社団法人移行申請(電子申請)	2月 27日	公益法人インフォメーション
一般社団法人移行申請 説明(収支計算書)	3月 13日	医務課
一般社団法人移行認可書	3月 26日	医務課
一般社団法人登記依頼	3月 26日	司法書士 宮本ひふみ事務所訪問
社団法人和歌山県鍼灸師会移行による解散	3月 31日	

総務部

各事業援助	随 時	
新入会員手続き、名簿作成	随 時	和鍼会事務所
公益法人 資料作成	随 時	
理事会準備(総務部)	随 時	
その他 各部に属さない業務	随 時	
通常総会知事への報告	6月 11日	医務課
和歌山県北部(冠水被害)会員安否報告	6月 23日	日鍼会
厚生労働大臣感謝状推薦(東日本大震災)	1月 15日	医務課
臨時総会の報告(一般社団法人定款案)	1月 23日	医務課
和歌山県鍼灸師会 事務所契約書(更新)	3月 4日	亀井様

財務部

大西会計事務所(決算書予算書作成)	4月 15日	大西会計事務所
和鍼会会計監査	5月 6日	和鍼会事務所
毎月銀行振込、各部会収入・支出管理	随 時	
公益資料作成	随 時	和鍼会事務所

保険部

療養費制度等適正運用委員会	毎月 6日	和鍼会事務所
制度改革における各種折衝	随 時	
療養費支給申請書類等の用紙印刷	随 時	県後期高齢者医療広域連合他
療養費取扱い新人研修	随 時	和鍼会事務所
第1回療養費制度等適正運用指導会	7月 22日	那智勝浦町体育文化会館
保険者訪問	9月 12日	協会けんぽ和歌山支部
第2回療養費制度等適正運用指導会	11月 11日	和歌山中央コミュニティセンター3階
第3回療養費制度等適正運用指導会	2月 17日	マリーナシティわかやま館301号室

学術部

第1回学術・青年部合同研修会(中野正得)	7月 22日	那智勝浦町体育文化会館
第9回はり・きゅう講演会準備説明会	10月 21日	和歌山市中央コミュニティセンター大ホール
第9回はり・きゅう講演会	11月 11日	和歌山市中央コミュニティセンター大ホール
第2回学術・青年部合同研修会(前嶋)	12月 23日	治療院見学及び勉強会(前嶋会員)
第1回学術講習会	2月 17日	マリーナシティわかやま館301号室

広報部

催事の広報活動	随 時	
県選抜サッカートレセン	8月 5日	紀三井寺競技場及び紀三井寺はやし
第20号 会報誌発行	10月 6日	
ホームページ更新	12月 17日	
ホームページ更新	随 時	

青年部

第1回学術・青年部合同研修会(中野会員)	7月 22日	那智勝浦町体育文化会館
県選抜サッカートレセン	8月 5日	紀三井寺競技場及び紀三井寺はやし
第2回学術・青年部合同研修会	12月 23日	治療院見学及び勉強会(前嶋会員)
第18回adidas・口熊野マラソンボランティア	2月 3日	上富田文化会館

2. 近畿ブロック関係

(社)大阪府鍼灸師会 学術講習会	7月 8日	大阪府鍼灸師会館3階
第39回 東洋医学夏季大学公開講座	7月 22日	兵庫県民会館11階 パルテホール
(社)大阪府鍼灸師会 学術講習会	7月 22日	森ノ宮医療学園専門学校 講堂
近畿ブロック鍼灸師法専門チーム会議	8月 19日	大阪府鍼灸師会館
近畿ブロック会議	9月29、30日	滋賀県クレフィール湖東
(社)奈良県鍼灸師会 設立55周年式典	11月 25日	ホテルフジタ奈良
(社)大阪府鍼灸師会 学術講習会	12月 9日	大阪府鍼灸師会館3階
(一社)滋賀県鍼灸師会 設立40周年記念式典	2月 3日	ホテル ニューオウミ
藍綬褒章受章(浜田曉会長)	2月 17日	シティプラザ大阪2階
近畿ブロック保険部長会議	2月 24日	大阪府鍼灸師会館4階
近畿ブロック青年部長会議	3月 9日	ホテル京都エミナース
近畿ブロック青年部一泊研修会	3月9、10日	ホテル京都エミナース

3. (公社)日本鍼灸師会関係

日本鍼灸師会第61期学術講習会	4月 8日	森ノ宮医療学園
青木正雄先生を偲ぶ会(弔電)	5月 27日	
日本鍼灸師会 通常代議員会	6月 3日	東京ステーションコンファレンス5階 501(サピアホール)
期成同盟鍼灸師法制定促進会議	6月 3日	東京都中央区八重洲 庄や
全国保険部長会議	7月 8日	東医健保会館3階会議室
全国組織・共済・青年部長会議	7月14、15日	日本鍼灸会館 2・4階
第3回臨床鍼灸スポーツフォーラム	7月 16日	愛知県産業労働センター「ウインクあいち」
第32期鍼灸臨床研修会(坂本会員)	9月15~17日	東京・大阪(森ノ宮医療学園)
第8回(公社)日鍼会全国大会事前準備	随 時	青年委員会(スカイプ会議)
第8回(公社)日鍼会 全国大会IN埼玉	10月7、8日	大宮ソニックシティ
全国師会長会議	12月 2日	日本鍼灸会館

4. その他

医師会新役員就任 懇親会	4月 28日	ホテル アバローム紀の国 鳳凰の間
第61回(社)全日本鍼灸学会学術大会	6月8~10日	四日市市文化会館
(社)全日本鍼灸学会近畿指定研修B講座	7月 15日	奈良商工会議所
保健衛生(医事)功労知事感謝状 出崎哲也	11月 27日	ホテル アバローム紀の国 孔雀の間
和歌山県医療推進協議会役員会・懇親会	12月 20日	ホテル アバローム紀の国 孔雀の間
会員お見舞い(前嶋会員)	12月 27日	前嶋会員施術所
新年名刺交換会 各課 保険者訪問	1月 4日	県庁 日赤会館
会員家族訃報(上西会員)	1月 11日	五色台聖苑

平成25年度 事業計画

一般社団法人 和歌山県鍼灸師会
会 長 萩野 利赴

和鍼会監査	5月12日	和鍼会事務所
定時会員総会	6月 9日	田辺市紀南文化会館 研修室2・3
理事会	年3回以上～議題により随時開催予定(FAX理事会含む)	
療養費委員会	毎月1回 6日 又は前後1日	
会員親睦会	12月22日	紀南地方(田辺市周辺)

1. 一般社団法人和歌山県鍼灸師会関係

会 長

県庁関係 挨拶廻り	1月 6日	和歌山県庁
新年名刺交換会	1月 6日	和歌山県庁

総務部

各事業援助	随 時	
新入会員手続き、名簿作成	随 時	和鍼会事務所
理事会準備(総務部)	随 時	
理事会	随 時	
その他 各部に属さない業務	随 時	
定時会員総会知事への報告	7月 8日	医務課

財務部

和鍼会会計監査	5月 12日	和鍼会事務所
毎月銀行振込、各部会収入・支出管理	随 時	
会計資料作成	随 時	和鍼会事務所
公認会計士との折衝	随 時	会計事務所

保険部

療養費制度等適正運用委員会	毎月 6日	和鍼会事務所
制度改革における各種折衝	随 時	県後期高齢者医療広域連合他
療養費支給申請書類等の用紙印刷	随 時	
療養費取扱い新人研修	随 時	和鍼会事務所
保険者挨拶廻り	随 時	広域連合・協会けんぽ・国保連他
療養費等適正運用資料(25年5月)	5月 6日	和鍼会事務所
第1回療養費制度等適正運用指導会	6月 9日	紀南文化会館 研修室2・3
第2回療養費制度等適正運用指導会	11月 10日	有田市文化福祉センター
第3回療養費制度等適正運用指導会	3月 21日	和歌山ビック愛

学術部

第1回学術・青年部合同研修会	8月 4日	和鍼会事務所
第10回はり・きゅう講演会(県民公開講座)	11月 10日	有田市文化福祉センター
第2回学術・青年部合同研修会	12月 22日	治療院見学及び勉強会(中井会員)
第1回学術講習会(石田会員)	3月 21日	和歌山ビック愛

広報部

ホームページ更新	随 時	
催事の広報活動	随 時	
第21号 会報誌発行	10月 6日	
第19回 adidas・口熊野マラソンボランティア	2月 2日	上富田文化会館

青年部

奈良県マラソンボランティア	12月頃	場所未定
第9回(公社)日鍼会 全国大会 IN 岡山	10月13、14日	岡山コンベンションセンター
第19回 adidas・口熊野マラソンボランティア	2月 2日	上富田文化会館

2. 近畿ブロック関係

大阪府鍼灸師会50周年記念式典	5月 26日	シティプラザ大阪2階 句の間
近畿ブロック鍼灸師法専門チーム	7月 21日	大阪府鍼灸師会館
近畿ブロック会議	9月28、29日	三重内県予定
近畿ブロック保険部長会議	2月頃	大阪府鍼灸師会館
近畿ブロック青年部長会議	3月 8日	大阪府内予定
近畿ブロック青年部一泊研修会	3月8、9日	大阪府内予定

3. (公社)日本鍼灸師会関係

日本鍼灸師会 第62期学術講習会	5月 12日	森ノ宮医療学園専門学校
日本鍼灸師会 通常代議員会	6月 2日	東京ステーションコンファレンスサンピアタワー 5階501号(サンピアホール)
全国保険部長会議	7月 7日	日本鍼灸会館
全国青年部長会議	10月 12日	岡山市内予定
第4回臨床鍼灸スポーツフォーラム	11月 24日	ホテルグランビア大阪
第33期鍼灸臨床研修会(弓場会員)	9月14~16日	東京・大阪(森ノ宮医療学園)
第9回(公社)日鍼会 全国大会 IN 岡山	10月13、14日	岡山コンベンションセンター
全国師会長会議	12月 1日	日本鍼灸会館

4. その他

医療推進協議会 理事会	未 定	県民文化会館
医療推進協議会	未 定	場所未定
(公社)全日本鍼灸学会	5月 26日	キャンパスプラザ京都
近畿支部指定研修 B 講座		
第62回(公社)全日本鍼灸学会	6月7~9日	アクロス福岡
学術大会九州大会		
(公社)全日本鍼灸学会	9月 15日	森ノ宮医療大学
近畿支部指定研修 A 講座		
第41回日本伝統鍼灸学会 学術大会	9月28、29日	京都エミナース
(公社)全日本鍼灸学会	10月 6日	新橋ビル8階 A 会議室
近畿支部指定研修 B 講座		
(公社)全日本鍼灸学会	11月 23日	明治東洋医学院専門学校
近畿支部学術集会		

平成25・26年度 役員紹介

【代表理事】 1名

萩野 利赴

【業務執行理事】 6名

中田 浩 出崎 哲也 竹中 秋生 木下 真人 前嶋 拓也 藪中 浩之

【会 長】 萩野 利赴

【副 会 長】 中田 浩 出崎 哲也

【監 事】 中 美博 吉井 久和

【総務部長】 竹中 秋生 【副部長】 藪中 浩之

【財務部長】 中田 浩 【副部長】 前嶋 拓也 尾谷 正剛

【保険部長】 出崎 哲也 【副部長】 中田 浩 弓場 穰

【学術部長】 藪中 浩之 【副部長】 茂原 仁 石田 国豊

【広報部長】 木下 真人 【副部長】 小谷 進一 寺本 享央

【青年部長】 前嶋 拓也 【副部長】 中野 正得 澤越 巧治

療養費制度等適正運用委員会(14名)

療養費制度等適正運用委員長 前嶋 拓也

副委員長 藪中 浩之

療養費制度等適正運用委員

常勤 萩野 利赴 中田 浩 出崎 哲也 竹中 秋生

前嶋 拓也 中野 正得 寺本 享央 木下 真人

尾谷 正剛 藪中 浩之

A 班 濱崎 正人 石田 国豊

B 班 森中 幸雄 川南 昭

*****編集後記*****

平成25年の夏は「記録的猛暑」となりました。特に8月は記録づくめの月で、気象庁によると、8月中旬は東日本(関東甲信、北陸、中部)と西日本(近畿、中四国、九州)で観測史上1位の暑さだったそうです。勢力の強い太平洋高気圧が西寄りに位置したため、西日本を中心に日照時間が増え、気温がぐんぐん上昇したのが原因とのことです。西日本では、平均気温は平年比で2、3度高く、日照時間は平年の161%で、いずれもこれまでの1位の記録を大幅に塗り替えました。高知県四万十市では8月12日、国内歴代1位の41度を観測し、6年ぶりに記録を更新しました。まさに異常気象としか言えません。東洋医学的に言えば、暑邪を通り越して火邪になって私たちに襲いかかっていた夏でした。

そのような中、私たち和歌山県鍼灸師会は「一般社団法人和歌山県鍼灸師会」として一步を踏み出しました。新しく生まれ変わった和歌山県鍼灸師会一丸となり、県民の皆様の健康をサポートするよう努力してまいりますので、今後ともよろしく願いいたします。

広報部長 木下真人

表紙の写真:紀伊大島

紀伊大島は大島、もしくは串本大島とも呼ばれ、和歌山県東牟婁郡串本町の沖合い約1.8kmの海上に浮かぶ和歌山県下最大の島であります。1890年に、日本とトルコの友好関係のきっかけとなったエルトゥールル号遭難事件は当島の沖で発生しました。

一般社団法人 和歌山県鍼灸師会 会報第21号

発行日 2013年10月6日
発行者 一般社団法人 和歌山県鍼灸師会
会長 萩野 利赴
連絡先 〒643-0033
和歌山県有田郡有田川町明王寺 338-8
フジビル1号
電話 0737-53-1101 FAX 0739-22-9206
U R L <http://wakayama.harikyu.or.jp/>



明治国際医療大学

旧称：明治鍼灸大学



鍼灸学部
鍼灸学科
80名

保健医療学部
柔道整復学科
60名

看護学部
看護学科
60名

大学院
鍼灸学研究科
— 修士課程 — 博士後期課程
— 修士課程（通信教育課程）

[特色]

- キャンパス内の附属病院で活きた医療を学ぶ
- 徹底した少人数教育と充実のサポート体制
- 健康・スポーツ関連資格の取得を支援

充実の特待生制度（授業料半額減免、最長4年間）

〒629-0392 京都府南丹市日吉町

TEL **0771-72-1188**

明治国際

検索

パソコン <http://www.meiji-u.ac.jp/>
携帯 <http://www.meiji-u.ac.jp/>

ACCESS

JR 桂川駅・阪急桂駅から直通バス 60分
JR 京都駅から山陰線鍼灸大学前駅 59分



明治東洋医学院専門学校

豊かな感性と確かな技術を持った
信頼される臨床家の育成を目指します。

[特色]

- 1925年創立の伝統と実績
- 充実の実習カリキュラム
- 就職・開業への万全のサポート体制

鍼灸学科
[3年制]

午前コース 60名
午後コース 60名
夜間コース 60名

柔整学科
[3年制]

午後コース 60名
夜間コース 60名

教員養成学科
[2年制]

午前コース 25名

附属治療所、フットサル施設を併設

〒564-0034 大阪府吹田市西御旅町7-53

TEL **06-6381-3811**

明治東洋

検索

パソコン <http://www.meiji-s.ac.jp/>
携帯 <http://www.meiji-s.jp/>

ACCESS

阪急下新庄駅から徒歩5分



学校法人 明治東洋医学院 since 1925

厚生労働大臣指定・大阪府認可

森ノ宮医療学園専門学校

学内保育園(全コース対応)
みどりの風保育園オープン

医療専門課程【3年制】

鍼灸学科

柔道整復学科

コース	定員
【昼間部】 午前コース	120名
昼間コース (医療資格者コースを含む)	
【夜間部】 夜間コース	60名

※医療資格者コースは医療系国家資格をお待ちの方のみを対象としたコースです。

コース	定員
【昼間部】 アドバンスコース	30名
昼間コース	60名
【夜間部】 夜間コース	60名

※アドバンスコースは「スポーツ整復学」など、履修科目が増えるコースです。

ここでは、
3年後の未来が見える。

<http://www.morinomiya.ac.jp/>

[TEL] 06-6976-6889

[FAX] 06-6973-3133

[E-mail] staff@morinomiya.ac.jp

〒537-0022 大阪市東成区中本4-1-8



文部科学大臣認可 / 学校法人 森ノ宮医療学園

森ノ宮医療学園出版部 出版物のご案内

臨床鍼灸学術専門誌 鍼灸 OSAKA 年4回発行



● Back No. 特集テーマ (2013年研現刊) ●

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| No.78 医療面接 | No.94 小児の鍼灸治療 |
| No.79 うつ病・うつ症状 | No.95 鍼はなぜ効くか? |
| No.80 過敏性腸症候群 | No.96 認知症と鍼灸 |
| No.81 下肢慢性動脈閉塞症 | No.97 ストレスマネジメントと鍼灸 |
| No.82 めまい | No.98 COPD(慢性閉塞性肺疾患) |
| No.83 不眠症Ⅱ | No.99 不妊症・不育症 |
| No.84 古典と臨床 | No.100/101 効かせる鍼灸の技 |
| No.85 スポーツレーナーと鍼灸 | No.102 加齢性眼科疾患 |
| No.86 技を磨く 鍼編 | No.103 療診再考 |
| No.87 技を磨く 灸編 | No.104 鍼灸の法制度を考える |
| No.88 咳嗽 | No.105 鍼灸でとらえるからだ |
| No.89 美容鍼灸 | No.106 海外で鍼灸師として生きる |
| No.90 鍼灸とEBM | No.107 日本鍼灸の多様な術と豊かさ |
| No.91 心身症 | No.108 漢方医と鍼灸師のコラボレーション |
| No.92 円皮鍼 | No.109 がんへのアプローチ |
| No.93 エイジマネジメント | |

No.41より定価 1,942円(送料別) 予約購読料(季刊年4号) 7,340円(税込) 送料サービス



WHO国際標準経穴に対応したリニューアル版。鍼灸学校の学生さんたちの意見を取り入れて企画・制作。経絡別に色分けし、個々の経穴の位置をわかりやすい人体図で表現。全身の経穴を視覚的・直感的に覚えるための工夫を凝らしました。画像がフルカラーになって取穴指標の表現がグレードアップ。実用新案登録。

「パーフェクト ツボ暗記カード」

iPhone・Androidアプリも販売中!

(定価 ¥3,580(本体価格 ¥3,410) 名称サイズ約400枚 専用ケース入り)

ISBN: 978-4-902270-07-5



臨床鍼灸では、目の前の患者さんに対してどのように対応し、患者さんからどのような情報を得て治療方針を立てればよいのか、とまどうことが多い。初学者はもちろん、経験を重ねてもそうである。また、医療過誤を起さないためにどのような点に留意すべきか…。本書は、治療にいたるまでの1から10まで、痛いところに手が届くようにガイドするポケットブックである。白衣のポケットに忍ばせると、力強い味方になること請け合い。

「ポケット鍼灸臨床ガイド」

(定価 ¥2,940(本体価格 ¥2,800) 文庫厚 190頁)

ISBN: 978-4-902270-05-1



誰の標榜の持病を治した薬性の使ったツボは? 『書影論』にもっとも多く記されているツボは何? 澤田道裕伝の経穴って? 遙か古の名医たちはどのツボを使ってどんな病気を治したのだろうか?... 主要穴75穴について、中国や日本で書かれた古典をはじめ主要な書物から、その有効疾患と治療法をわかりやすくまとめました。知識としてだけでなく、実際の臨床にも活用できる1冊です。巻末に引用原典を掲載。古典を通して先人の治療をより身近に!

「このツボが効く 先人に学ぶ75名穴 改訂増補版」

ISBN: 978-4-902270-06-8

(定価 ¥2,940(本体価格 ¥2,800) B5判 358頁)

ご注文・お問い合わせは出版部まで TEL.06-6976-6889 FAX.06-6973-3133 koudoku@morinomiya.ac.jp
森ノ宮医療学園出版部 〒537-0022 大阪市東成区中本4-1-8 <https://morinomiya.ac.jp/book/>

回旋系の動きによりツボが決まる、
全く新しい治療概念が本になりました！

ダイナミックロト・セラピー

動的鍼灸の理論と実践

著：溝口哲哉(ダイナミックロト・セラピー研究会代表)
B5判 127頁 定価3,990円(本体3,800円+税)

ダイナミックロト・セラピーとは、回旋に関わる浅筋膜の走行理論をベースに、すべての障害を回旋運動連鎖障害としてとらえ、それをPRONO(内旋)系障害と、SUPINO(外旋)系障害に分類し、そのタイプごとに、手足の要穴を使って鍼灸治療を施す新しい治療概念である。その大きな特徴は、簡素な診断法と少数穴治療にあり、整形外科的疾患はもとより内科疾患などにも応用でき、誰でも簡単に同じ治療結果をもたらすことができる治療法となっている。



主な内容

- 第一章 動的鍼灸治療への脱皮
- 第二章 回旋運動とその意味
- 第三章 回旋障害とアライメント
- 第四章 運動連鎖と回旋運動の関係
- 第五章 ダイナミックロト・セラピーとダイナミックロト・鍼灸
- 第六章 ダイナミックロト・鍼灸の実践
 - ・取穴の法則
 - ・治療手順と取穴
 - ・症例報告
- 付録：ダイナミックロト・エクササイズ
の考え方と実践



医道の日本社
IDONONIPPON

〒237-0068 神奈川県横浜須賀買市追浜本町1-105 <http://www.idononippon.com>
フリーダイヤル 0120-2161-02 TEL 046-865-2161 FAX 046-865-2707

健康にはり

SEIRIN®
Made in Japan



多くの先生方のご要望により…

「セイリン鍼 JSP SEIRIN Point」



No. 5 40^{寸3}mm 50^{寸6}mm
が加わりました

7月1日(月)発売開始

こだわりが生み出した鍼…
「JSP」が求められています。



J-タイプ
※倍率/100μm



JSP

JSPとは、
鍼尖が丸くなった「新しい^{はり}鍼」

セイリンの優れた技術力だから実現できた優しい鍼「JSP」。
鍼尖が丸くなることで、「使用感がやさしい」「刺入がとてもスムーズ」などの評価をいただいています。

※使用感には個人差があります

No.	02	01	1	2	3	5
カラーコード	ダークグリーン	グリーン	レッド	アイボリー	スカイブルー	バイオレット
線径(mm)	0.12	0.14	0.16	0.18	0.20	0.25
鍼長30mm	○	○	○			
40mm	○	○	○	○	○	●
50mm				○	○	●

管理医療機器 医療機器認証番号:15500BZZ00805000

ご使用に際しては、添付文書をよくお読みください。添付文書が必要な方はお申し出ください。

SEIRIN 株式会社
ISO13485 認証取得

〒424-0037 静岡県静岡市清水区袖師町1007-1
☎0120-100890 FAX: 054-365-5139
(通話料無料ダイヤル) ホームページ: <http://www.seirin.tv>



CARBO® Acupuncture Needles

カーボ鍼灸針



【管理・クラスII】

認証番号：222AABZX00122000

DX/JP-5/CT-1の鍼体には、日本市場向けの、特に高品質なステンレスを使用しています。すべてE0G滅菌。



DX (個別包装) DX/JP-5 100本入 1,155円

- ・扱いやすい長柄鍼
- ・サイズが豊富
- ・ワンタッチ包装

	5分	1寸	寸3	寸6	2寸
0番	—	○	○	—	—
1番	△	○	○	○	—
2番	△	○	○	○	—
3番	△	○	○	○	○
4番	—	○	○	○	—
5番	△	○	○	○	○
8番	—	△	○	○	○
10番	—	△	○	○	○

△…DXのみ —…取扱なし



CT-1 100本入 1,155円

- ・らせん鍼柄 ・クサビ留め
- ・2寸5分-3番/5番/8番/10番



JP-5(5本包装)

- ・標準的な和鍼鍼柄
- ・取り出しやすい特許包装



中国鍼 100本入 1,575円

- ・らせん鍼柄 ・アルミ包装
- ・100mm*0.30mm / 0.35mm
- ・125mm*0.35mm

トイレでするお灸

座燻

~zahoon~



座燻器がなくても
自宅のトイレで
手軽にできるヨモギ蒸し

座燻 (ザフン)
9個入 1,470円
30個入 4,410円

使用方法

1. 洋便器内の水面にトイレットペーパーを敷く。
2. 圧縮もぐさに火をつける。
3. もぐさを専用の浮き紙に入れて、1のトイレットペーパー上に浮かべる。
4. 燃え終わるまで便座に腰掛け座燻する。
5. 使用後は水を流す。(浮き紙は水に溶けます)



韓国江華よもぎ 100%

韓国のお灸がすごい！

無煙紙筒灸

マニナ

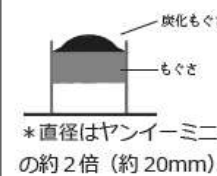


Manina

使い方は簡単。
はく離紙をはがし、火をつけて、
皮膚の上に載せるだけ。



マニナ (40個入)
強 1,785円
弱 1,680円



無煙と有煙のイトコドリ！
もぐさの上に炭化もぐさをトッピング
することで、煙を閉じ込めるため、
煙が効率的に皮膚にあたります。

*直径はヤンイーミニ
の約2倍 (約20mm)。

韓国江華よもぎ 100%

長年愛され続けてきた
リーズナブルな紙筒灸

ヤンイーミニ



ヤンイーミニ (強・弱) 500粒入 各 2,625円
のりなしヤンイーミニ (強・弱) 500粒入 各 2,100円
補充用紙巻もぐさ (詰替え用) 500粒入 1,260円
ミニ紙管 (空紙管/のりなし強) 1000粒入 2,625円

もぐさ・棒灸・温灸器



温灸純艾條 10本入 1,155円
念盈薬條/太乙薬條 10本入 各 1,575円
ヘルパー (温灸器+火消しつぼ) 1,365円
ドリーム (ヘルパー専用取っ手) 1,155円
家庭でできる温灸療法 (本) 472円
長沙 (甲/乙) (温灸用もぐさ) 1kg 4,200円/3,150円
その他良質もぐさが格安で！台座灸もごさいます！

取扱商品、サービス、どんなことでもお気軽にお電話ください。tel 0120-884-735 / 078-742-7068 fax 0120-932-418
最新情報はfacebookをチェックしてください。facebook.com/yangyitrading 商品の詳細はwebサイトで！www.yangyi.co.jp
メールで何でもお問い合わせください。sun@yangyi.co.jp 兵庫県神戸市垂水区日向2-6-29 中国製オリジナルもぐさ多数直輸入
CARBO (鍼灸針) 日本総代理店/ヘンニム (江華よもぎ製品) 日本総代理店 有限会社ヤンイー貿易

レセプト作成ソフト 【鍼灸師システム】

月々の使用料 ¥5,000(税別)

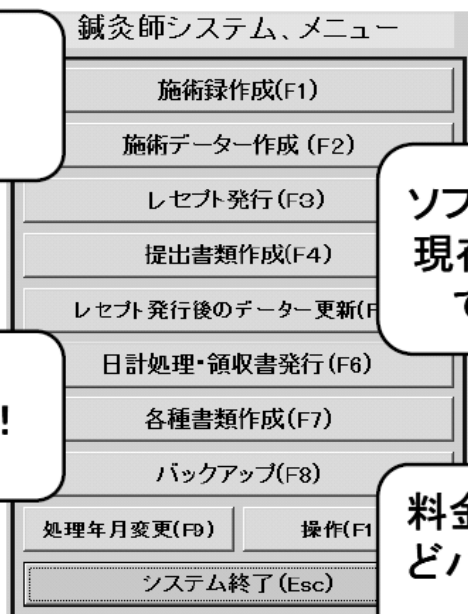
※初回のみ別途導入費が必要です

使い方は簡単で
書類作成も安心！

電話サポート無料！

ソフトのみ販売なので、
現在お使いのパソコン
で始められます！

料金変更、用紙変更な
どバージョンアップも無
償対応！



ご希望の方には、デモCDをお送りいたします。

◆お問合せ◆

トゥインヒルズソフト TEL 0736-32-2096

医療系国家資格で 就職・開業

東洋医療学科(昼間/定員各30名)

【はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師】

東洋医療鍼灸学科(昼間・夜間/定員各30名)

【はり師・きゅう師】

入学試験を
実施します。

10/6(日)
11/3(日)

学校説明会を
開催します。

11/24(日)

学校見学
随時受付中。

(予約制)



学校法人 関西医療学園

関西医療学園専門学校

〒558-0011 大阪市住吉区苅田6-18-13
TEL 06-6699-2222



関西医療学園

検索

併設学科

柔道整復学科
理学療法学科

併設校

関西医療大学

〒590-0482 大阪府泉南郡熊取町若葉 2-11-1 TEL 072-453-8251

保健医療学部

ヘルスプロモーション整復学科
はり灸・スポーツトレーナー学科

理学療法学科

臨床検査学科

保健看護学部

保健看護学科

大学院 保健医療学研究科 保健医療学専攻 (修士課程)

S u nカーボン灯 DX型

S u nカーボン灯 A型



- 光線治療器用カーボン（各種）
- 鍼（セイリン、NEO、ユニコ、アサヒ医療器 他）
- 灸（山正、カマヤ 他）、
- 治療器（赤外線治療器、パルス治療器、オートクレーブ、保管庫 他）
- 医薬品、衛生材料、介護用品、健康器具
- 東洋医学関連商品全般



有限会社 **藪本医科器械**

〒640-8113 和歌山市広瀬通丁1丁目11番地

TEL 073-425-0017代

FAX 073-425-0018

<http://www.yabumotoika.com>